

1 題材 日本の伝統音楽に親しもう 管絃「越天楽」平調子

2 目標

雅楽に興味・関心をもち、楽器の音色の美しさや響き、テンポ、曲の雰囲気などを感じ取り、背景となる歴史・文化等とかかわらせて聴く。

3 題材設定にあたって

本題材は学習指導要領第2学年及び第3学年2内容B鑑賞(1)イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連づけて理解して、鑑賞すること」やウ「我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること」と関連している。

雅楽は、古くからあった日本古来の我が国の音楽と中国や朝鮮から伝わった大陸からの音楽とが融合して生まれたものである。管絃「越天楽」は、雅楽といえば越天楽といわれるほど、雅楽のレパートリーの中で最もよく知られた曲である。管楽器、弦楽器(絃楽器)、打楽器で編成されているため、現在のオーケストラの編成と非常によく似ている。そこで、日常生活でよく耳にする西洋音楽との比較をすることで、雅楽の楽器の特徴を感じ取り、音楽の多様性に気づかせたい。

本学級の生徒の実態をみると、音楽の学習については全員が好きと答えており、大変意欲的に取り組んでいる。鑑賞の授業についても好んで受けている生徒が多く、熱心に聴取する姿が見られる。我が国の音楽に関しては、1年次に箏曲「さくらさくら」を箏で全員で演奏したり、今年度の文化祭では学年の発表のなかで日本文化に関する内容を取り上げ、箏や祭り囃子を演奏したりするなど、関心も高くなってきていることがうかがえる。

<実態調査アンケート>

1:あてはまる	2:どちらかといえばあてはまる	3:どちらかといえばあてはまらない	4:あてはまらない
(1) 音楽の学習は好きですか。	1:20人	2:1人	3:0人 4:0人
(2) 鑑賞の授業は好きですか。	1:14人	2:5人	3:0人 4:2人
(3) 音楽を聴くときに、音楽の流れや雰囲気を考えながら聴いていますか。	1:10人	2:10人	3:1人 4:0人
(4) 日本の伝統音楽について興味はありますか。	1:11人	2:8人	3:2人 4:0人
(5) 日本の伝統楽器(箏など)の演奏は好きですか。	1:11人	2:8人	3:1人 4:1人

本題材では、雅楽の中の管絃にふれることを通して、日本古来の音楽や雅楽の楽器の魅力を感じ取り、それらに親しみながら我が国の伝統音楽を尊重する心情を育てることをねらいとしている。そこで、オーケストラで演奏される越天楽と雅楽越天楽とを比較させることにより、楽曲全体の響きや雰囲気、楽器の音色などの特徴を感じ取らせたいと考える。また、これまでの雅楽に関する歴史的背景や、今日日常生活の中で育まれている文化についてふれ、今なお伝承されている我が国の音楽文化について、積極的に尊重しようとする態度を育てたいと考え、本題材を設定した。

4 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
歌唱				
器楽				
創作				
鑑賞	○	○		○
題材の評価規準	雅楽の歴史や文化、楽器の音色、特徴などに興味をもち、意欲的に聴いている。	雅楽の楽器の音色、特徴、曲の雰囲気をオーケストラと比較して感じ取っている。		雅楽の楽器の音色や特徴を感じ取りながら、全体のよさや美しさを味わって聴いている。

5 学習と評価の計画

次	ねらい	主な学習活動	題材の評価規準
第1次 (3) 本時は 第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○雅楽についての認識を深め、その歴史や文化について関心をもつ。 ○雅楽の特徴を西洋音楽（オーケストラ）と比較しながら感じ取る。 ○雅楽の楽器の音色や特徴を感じ取り、味わって聴く。 	<p>「管絃 越天楽 平調子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○雅楽の歴史や文化について、資料からその内容を読み取り、関心をもちながら越天楽を鑑賞する。 ○越天楽を雅楽とオーケストラで鑑賞し、その違いを感じながら雅楽の楽器の音色や雰囲気を感じ取る。 ○雅楽の楽器の音色や特徴を感じ取りながら全体を味わう。 	ア イ エ

6 本時の指導

(1) 目標

雅楽の特徴を西洋音楽（オーケストラ）と比較しながら感じ取ることができる。

(2) 準備, 資料

DVD, LD, ワークシート

(3) 展開

学習内容・活動	支援と評価（※評価）
<p>1 前時の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や楽器など、雅楽について学んだことを確認する。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>越天楽を雅楽とオーケストラで聴き比べて雅楽の特徴を考えよう。</p> </div> <p>3 管絃「越天楽」を雅楽とオーケストラで聴き比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でワークシートに気づいたこと、感じたこと等を記入する。 <p>4 聴き比べた結果をもとにグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを持ち寄り、雅楽とオーケストラとではどのような点が違うのか話し合う。 ・雅楽の特徴について話し合う。 ・雅楽の特徴について、進行役が発表する。 <p>5 まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やワークシートで前時の学習内容が確認できるようにする。 ・前時に鑑賞した越天楽にはオーケストラ版があることを伝え、興味・関心が高まるよう雰囲気を作る。 ・1学期に鑑賞したブルタバの学習にふれ、オーケストラの編成を念頭に置きながら、雅楽を聴くことができるようにする。 ・曲を全曲通しでは鑑賞せず、曲の冒頭部分に焦点を当て、ポイントを絞った鑑賞ができるようにする。 ・全体的な雰囲気と楽器の音色、演奏風景など、あらかじめ比較する項目を示すことにより、明確なポイントをもって聴くことができるようにする。 ・特にあきらかな指揮者の存在と、複数の楽器が揃って出るタイミングについて気づくことができるよう助言する。 ・記入が進まない生徒には、教科書の写真や楽器の音色の特徴などのより詳しい点を示し、自力で気づくことができるよう配慮する。 ・進行役を決めて、気づいたことをまとめながら話し合えるようにする。 ・雅楽とオーケストラとの違いを話し合いながら、その違いから雅楽の特徴を考えることができるよう助言する。 ※雅楽の楽器の音色、特徴、曲の雰囲気をオーケストラと比較して感じ取っている。（イ） （ワークシート・観察） ・生徒の発表を深化・補充しながら、日本音楽の良さについてふれながら、次時の「能」の鑑賞に向けて意欲をもたせるようにする。